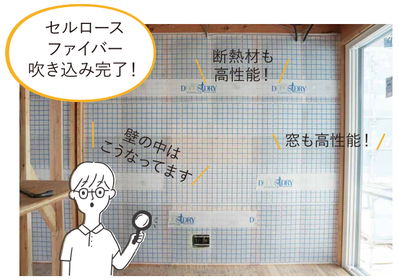
ヨッシーさんの家を見に行こう！
夏は涼しく、冬暖かい。その秘密は現場でわかります！

『FINE PLACE』でいつも楽しい食レポを届けてくれるヨッシーさん。実は現在ナルシマでご自宅を新築中です。今回はいつもとは逆に、訪問される側になっていただき、成島大敬が工事中の現場にて、完成してからでは見えなくなる断熱材や細部の見どころについて、レポートします！

←左から佐藤卓也棟梁、ヨッシーさん、2人の娘さん、奥様、大敬社長

壁の断熱材はセルロースファイバーを使用。千葉デコスの職人さんがすき間なく吹き込みます。（3ページもご覧ください）



スイッチやコンセントまわりも気密ボックスを入れて隙間なく仕上げます。

触ってみると隙間もムラもなく高密度で充填されているのがわかります。

見えなくなるところまで隙間対策を徹底していることを、ぜひ現場で見てください！

銀色に見えているのは気密テープ。

ココも注目！

柱と床の継ぎ目には発泡ウレタンを注入して隙間を塞ぎます。

ココも注目！

現場は中も外もキレイ。3時間ごとに掃除をしながら安全・安心な環境で作業します。

Q 壁に吹き込むセルロースファイバーってどんな断熱材ですか？

A セルロースファイバー断熱材「デコスファイバー」は、リサイクルした新聞紙を原料とする自然系の素材です。複雑に絡み合った木質繊維が空気を含み、高い断熱性を発揮するほか吸音性、調湿性などの効果もあります。高性能の窓、屋根や床の断熱との適切な組み合わせによる相乗効果で、快適な空間をつくります。

デコスファイバー JIS承認 品質の証
デコスドライ工法 断熱性 完全施工性
デコスドライ工法 調湿性 湿度を自然調整
デコスドライ工法 吸音性 静かな住環境

Q 高性能な断熱材さえ使えば快適な家になりますか？

A 断熱材は重要ですが、それだけで良いわけではなく、窓や気密性能、施工精度など複雑な要因が影響します。さらに土地環境や日当たりなども考えて総合的に設計することも必要。正しく施工してこそ快適な家になります。

Q ナルシマはほかの断熱材は使わないのですか？

A 床や屋根にはそれぞれ水発泡ウレタンパネル、フェノールフォームを使用しています。断熱材には断熱性能以外にも適材適所がありますので、部位ごとに最適なものを使用し、高気密・高断熱に加えて、快適な環境を提供しています。

Q 建築現場に「キレイさ」は必要ですか？

A 仕事ができる人の机はキレイと言われますが、現場も同じ。効率よく丁寧に仕事をする職人の現場は必ずキレイで、雑な職人はキレイにできません。安心して任せられる職人かどうかはキレイさでも判断できるのです。

Q 建築現場はどうしたら見学できますか？

A ナルシマの実施する現場見学会にご参加ください。掲載の日程でご都合が合わない場合は遠慮なくご相談ください。現場見学会は、お施主様のプライバシーを保護するために必ずご予約をいただいています。

性能向上リノベ デザインアワード 2022 で入賞しました！
PERFORMANCE IMPROVEMENT RENOVATION

成島材木店の母屋（築120年）をリノベーションして誕生したMUNIが、性能向上リノベデザインアワード2022の入賞作品に選ばれました。ナルシマも所属する「性能向上リノベの会」は、断熱、耐震性能を向上させるリノベーションにより、既存住宅の長寿命化、環境への貢献を目指す住宅関連企業の団体。古民家の活用にも取り組むナルシマの技術が高く評価されました。

ナルシマのリフォーム・リノベーション情報はこちら▼

SUMAIKOUBO NARUSHIMA CRFTSMANSHIP 職人会

職人紹介 Shokunin File

夏は涼しく冬暖かい、高性能なナルシマの家に使われているこだわりの断熱材の1つが、デコスファイバー断熱材です。その施工を担当しているのが千葉デコス。快適な環境づくりには欠かせないパートナーです。

木を材料とする新聞紙をリサイクルしてつくられ、優れた断熱性能だけでなく、調湿性、耐火性、吸音性も備えたデコスファイバー断熱材は、施工精度の高い家でこそ真価を発揮します。そういう意味でもナルシマの家との相性は抜群。「お客様にも施工現場をぜひ見てほしい」と自信を持って勧める渡邉さん。「現場のキレイさを見るだけで職人の腕がわかる」と、ナルシマの家づくりに共感。現場だけではなく見学会にも駆けつけて、デコスのことを語る、熱い男です。

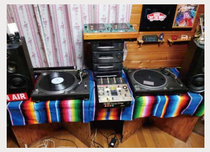
専用の機械を使って断熱材を送り込む。

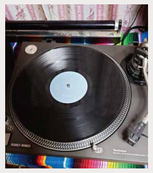
株式会社千葉デコス
営業・工事管理
渡邉 武（47）

Shokunin File.11
Takeshi Watanabe

家にはレコードが数百枚。好きが高じて、頼まれればDJもやっちゃいます！

隙間なく吹き込むには高度な技術が必要。




プライベートでは大の音楽好き。

MUKU information

MUKU ムクのミセ OPEN!!

■OB様先行オープン
5/13（土）
■一般オープン
5/14（日）
両日ともAM10:00〜

居心地の良いお部屋をつくるには、インテリアグリーンが欠かせません。そこでリノベーションした本社の手前棟が、グリーンショップとして装いを一新！テーブルを飾る小さな鉢から、お部屋のポイントになる大きめの鉢まで、さまざまなグリーンをご提案します。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

はみだしサポート

先月はモデルハウス&オフィス オープニングセレモニーに多数のご来場をいただき、ありがとうございました。皆様とお会いすることができて、ナルシマも元気をいただきました。創立30年を迎えて新会長、新社長そして職人会のメンバーも張り切っております。新しいナルシマをこれからもよろしくお願いいたします！

暮らしの達人を訪ねて
kurashi no tatsujin

ナルシマの家オーナー H様（築5カ月）

空き家となった母屋をリフォームする参考に、と訪れたナルシマのモデルハウスに心を動かされ、遂にはご新築で「土間のある家」を実現されたH様。昨年12月24日のご入居から一冬越えた住み心地を伺おうと、大敬社長、山森と相澤、そして編集スタッフ2名という総勢5名でお邪魔しました。

暖かな家で暮らしが一変！

大人数での訪問にもかかわらず、いつものように明るい笑顔で迎えてくださったH様ご夫妻。ご主人手ずから淹れていただいたコーヒーにホッとしながら、お話に耳を傾けます。

「エアコン1台で家中が暖かいって、本当だったね」と嬉しそうにおっしゃるご主人。「家中どこにいても寒くないので、家事がとても楽。洗濯物が室内干しですぐ乾く、というのも本当でした」と奥さまも笑います。25年前に建てられた以前の家は部屋ごとに3台のエアコンを付け、それでも寒くて石油ストーブも使うという生活。信じられないのは無理もありません。「毛布が1枚不要になって、着る服も軽くなりました。立ち仕事が苦にならないので、お気に入りの調理器具を使って料理するのが本当に楽しいんです」と料理好きの奥様らしい言葉が続きます。想定外だったのは、鍋料理。冬は体を温めるために恒例だったそうですが、「この家でお鍋をやったら汗だくになっちゃって。2回でやめました」と。買い置きしたラーメンが無駄になったと嘆く奥様につられて、思わず一同笑ってしまいました。

やりたいことが増えて、年を取るのが楽しみになりました

やりたいことをすべて叶えた家づくり

H様にとって、今回は2度目の家づくり。これまでの生活の経験と、これからの暮らしへの思いが込められ、完成まで熱い打ち合わせが続きました。いつも分厚いノートにメモをとっていた奥様は「私たちが言葉にできないことも大敬さんが丁寧に汲み取ってくれて、思いが叶いました」と振り返ります。こだわったのはパントリー。使い慣れた食器棚を入れるために、新設する棚や仕切りの位置を細かく決めていきました。ムク材の床、現わしの梁や勾配天井、何より土間に惹かれたというご主人からは「構造や性能などは僕が気に入って、キッチンや収納は彼女が担当。ナルシマさんの良いところを二人で最大限活かした感じです」と嬉しいお言葉が。今でも親しくお付き合いいただけているのも、本音で語り合った家づくりのおかげです。「家が快適だとそれだけで前向きな気持ちになるんですね」と奥様。ご主人も「大空間に土間があり、外にはウッドデッキ。家の中で何でもできるから、やりたいことがますます増えました。これから年を取っていくのが楽しみですよ」と、ご夫婦2人とワンちゃん2匹の生活に心から満足しているご様子。どこを見ても愛情込めて暮らされていることがひしひしと伝わり、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

お庭の八重桜は家の中からもよく見えます。

窓の向こうはリビングとつながるウッドデッキ。

▲こだわりの調理器具が並ぶキッチンで。

◀使いやすく整理されたパントリー。